



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タチエス

コード番号 7239 URL <http://www.tachi-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中山 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長

(氏名) 野上 義之

TEL 042-546-8117

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	205,305	△1.0	6,264	54.6	8,902	139.5	4,757	—
28年3月期第3四半期	207,463	16.4	4,051	—	3,716	182.5	△250	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 2,164百万円 (△14.7%) 28年3月期第3四半期 2,537百万円 (△58.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	134.24	—
28年3月期第3四半期	△7.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	166,962	—	87,983	—	—	49.8
28年3月期	163,826	—	87,701	—	—	50.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 83,198百万円 28年3月期 82,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
29年3月期	—	9.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期 第2四半期配当金の内訳: 普通配当8円00銭 記念配当1円00銭

29年3月期 期末(予想)配当金の内訳: 普通配当8円00銭 記念配当1円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	283,000	△0.2	8,000	16.2	11,000	41.9	5,500	226.3	155.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	36,442,846 株	28年3月期	36,442,846 株
29年3月期3Q	1,004,708 株	28年3月期	1,004,491 株
29年3月期3Q	35,438,300 株	28年3月期3Q	35,438,379 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策等により企業収益や雇用環境は改善が見られたものの、為替や株価の変動など不安定な要素もあり、消費マインドの回復には至らず、景気は足踏み状態が続いております。また、海外におきましては、英国のEU離脱問題、米国の大統領選挙結果などによる政治・経済の不確実性の高まりや、中国を中心とした新興国における景気下振れリスクの懸念もあり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内市場では乗用車は堅調に推移したものの、軽自動車増税や、燃費不正問題の影響などから軽自動車の販売減少が続きました。海外におきましては、中国市場は小型車向け減税措置の延長もあり、活性化が継続しております。一方、米国市場ではこれまで拡大が続いた新車市場で減速感が強まり、東南アジア市場では販売台数が上向き地域が見られるものの、先行きは不透明な状況にあります。更に、ブラジル市場においては依然低迷が続いております。

このような経営環境のもと、当第3四半期連結累計期間における業績は、国内及び海外ともに販売は底堅く推移したものの、為替変動に伴う円換算額減少により、売上高は2,053億5百万円（前年同四半期比1.0%減）と微減となりました。利益面につきましては、量産効果及び海外での合理化努力による利益貢献等により、営業利益は62億6千4百万円（前年同四半期比54.6%増）となりました。経常利益は、為替差益の発生等により、89億2百万円（前年同四半期比139.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は47億5千7百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億5千万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日 本

新型車の立上りによる効果や海外向け車種の販売増加等により、売上高は928億2千8百万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は23億1千万円（前年同四半期は営業損失5千8百万円）となりました。

②北 米

為替変動に伴う円換算額の減少により、売上高は350億8千1百万円（前年同四半期比9.6%減）、営業利益は10億4百万円（前年同四半期比48.6%減）となりました。

③中 南 米

販売は増加したものの為替変動に伴う円換算額の減少により、売上高は440億7千万円（前年同四半期比8.5%減）、営業損失は6億3千6百万円（前年同四半期は営業損失6億1千8百万円）となりました。

④欧 州

売上高は12億6千8百万円（前年同四半期比272.8%増）、営業損失は3億7千7百万円（前年同四半期は営業損失3億3千万円）となりました。

⑤中 国

販売は増加したものの為替変動に伴う円換算額の減少により、売上高は300億7千4百万円（前年同四半期比9.1%減）、量産効果及び合理化努力による利益貢献等により営業利益は41億1百万円（前年同四半期比31.0%増）となりました。

⑥東南アジア

売上高は19億8千1百万円（前年同四半期比26.2%減）、営業損失は1千6百万円（前年同四半期は営業利益6千6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、1,669億6千2百万円と前連結会計年度末に比べ31億3千5百万円増加しております。これは主に、受取手形及び売掛金が32億7千7百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、789億7千8百万円と前連結会計年度末に比べ28億5千3百万円増加しました。これは、支払手形及び買掛金が37億4千2百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、879億8千3百万円と前連結会計年度末に比べ2億8千2百万円増加しました。これは主に、為替換算調整勘定が46億3千8百万円減少したものの、利益剰余金が41億5千4百万円、その他有価証券評価差額金が7億6千2百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向及び為替動向を考慮し、平成28年5月12日に公表しました業績予想を修正いたします。

なお、為替レートは1米ドル=108.5円、1メキシコペソ=6円、1中国人民元=16.5円を前提としております。

平成29年3月期通期連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	270,000	7,500	10,400	5,000	141.09
今回発表予想(B)	283,000	8,000	11,000	5,500	155.20
増減額(B-A)	13,000	500	600	500	
増減率(%)	4.8	6.7	5.8	10.0	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	283,662	6,883	7,752	1,685	47.56

(注) 上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,602	39,684
受取手形及び売掛金	38,737	42,015
有価証券	176	183
商品及び製品	1,797	1,986
仕掛品	462	386
原材料及び貯蔵品	8,404	8,239
その他	7,031	7,286
貸倒引当金	△36	△19
流動資産合計	95,175	99,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,025	11,174
機械装置及び運搬具(純額)	11,492	10,140
その他(純額)	10,194	10,326
有形固定資産合計	33,713	31,641
無形固定資産		
のれん	86	64
その他	1,006	1,062
無形固定資産合計	1,093	1,127
投資その他の資産		
投資有価証券	25,422	26,873
その他	8,430	7,567
貸倒引当金	△8	△10
投資その他の資産合計	33,844	34,430
固定資産合計	68,651	67,199
資産合計	163,826	166,962

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,159	47,901
短期借入金	4,312	1,019
未払法人税等	1,886	931
役員賞与引当金	50	-
その他	16,248	16,993
流動負債合計	66,656	66,846
固定負債		
長期借入金	3,500	6,500
役員退職慰労引当金	11	14
退職給付に係る負債	606	492
その他	5,350	5,124
固定負債合計	9,468	12,131
負債合計	76,125	78,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,040	9,040
資本剰余金	9,247	9,247
利益剰余金	53,580	57,734
自己株式	△1,441	△1,441
株主資本合計	70,427	74,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,054	4,817
為替換算調整勘定	8,508	3,870
退職給付に係る調整累計額	△112	△70
その他の包括利益累計額合計	12,450	8,616
非支配株主持分	4,824	4,785
純資産合計	87,701	87,983
負債純資産合計	163,826	166,962

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	207,463	205,305
売上原価	190,640	186,248
売上総利益	16,823	19,057
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	3,278	3,185
発送運賃	1,535	1,538
その他	7,958	8,068
販売費及び一般管理費合計	12,771	12,792
営業利益	4,051	6,264
営業外収益		
受取利息	202	218
受取配当金	242	230
持分法による投資利益	1,801	1,862
為替差益	-	254
雑収入	94	141
営業外収益合計	2,341	2,707
営業外費用		
支払利息	121	46
為替差損	2,548	-
雑支出	5	23
営業外費用合計	2,676	69
経常利益	3,716	8,902
特別利益		
固定資産売却益	2	9
子会社清算益	-	161
特別利益合計	2	171
特別損失		
固定資産処分損	17	54
減損損失	40	-
投資有価証券評価損	-	28
関係会社出資金評価損	31	-
ゴルフ会員権評価損	-	2
特別損失合計	88	85
税金等調整前四半期純利益	3,630	8,987
法人税、住民税及び事業税	1,713	2,161
法人税等調整額	718	517
法人税等合計	2,432	2,679
四半期純利益	1,197	6,308
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,447	1,551
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△250	4,757

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,197	6,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	833	762
為替換算調整勘定	732	△4,456
退職給付に係る調整額	△33	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△192	△456
その他の包括利益合計	1,339	△4,144
四半期包括利益	2,537	2,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,115	923
非支配株主に係る四半期包括利益	1,422	1,240

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日 本	北 米	中南米	欧 州	中 国	東 南 ア ジ ア	計		
売上高									
外部顧客 への売上高	84,381	38,816	48,164	340	33,074	2,685	207,463	—	207,463
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,597	590	3,849	411	9,212	328	17,989	△17,989	—
計	87,979	39,406	52,014	751	42,287	3,014	225,453	△17,989	207,463
セグメント利益 又は損失(△)	△58	1,954	△618	△330	3,130	66	4,144	△93	4,051

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日 本	北 米	中南米	欧 州	中 国	東 南 ア ジ ア	計		
売上高									
外部顧客 への売上高	92,828	35,081	44,070	1,268	30,074	1,981	205,305	—	205,305
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,393	270	4,109	212	7,221	1,108	16,315	△16,315	—
計	96,222	35,351	48,180	1,481	37,296	3,090	221,621	△16,315	205,305
セグメント利益 又は損失(△)	2,310	1,004	△636	△377	4,101	△16	6,385	△121	6,264

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。